

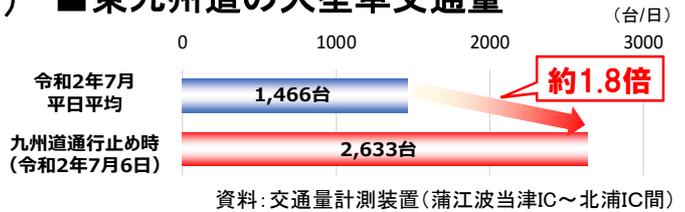
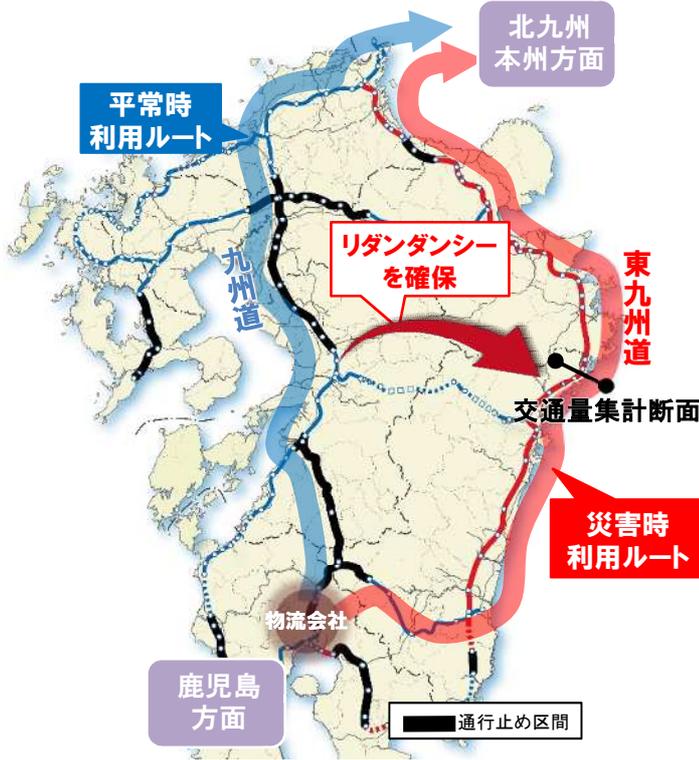
大規模災害時のリダンダンシーを確保

- 令和2年7月豪雨時は九州道の大部分で全面通行止めが発生。一方、東九州道は、通行止め箇所が少なく、鹿児島・宮崎方面から本州・北部九州への物流などで広域的なリダンダンシーを確保。
- 更に、緊急避難場所や避難階段も設置。これらを背景として、地域住民の大地震や津波、風水害への不安が約5割改善しており、安全・安心に寄与。

九州のダブルネットワーク化によりリダンダンシーを確保

■ 令和2年7月豪雨時通行止め箇所(7月6日)

■ 東九州道の大型車交通量



令和2年7月豪雨時は、九州道が利用できませんでした。
東九州道を利用して、輸送を取り止めることなく行うことができました。

鹿児島県物流企业

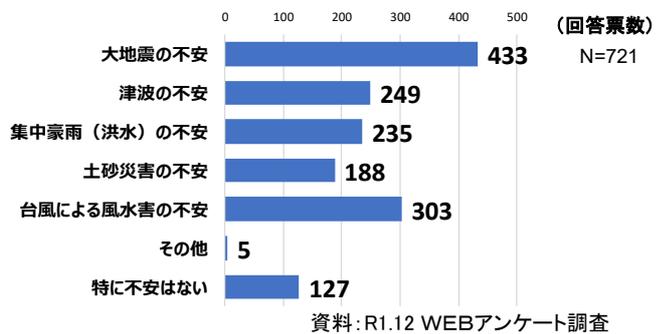
資料: R3.2 ヒアリング結果



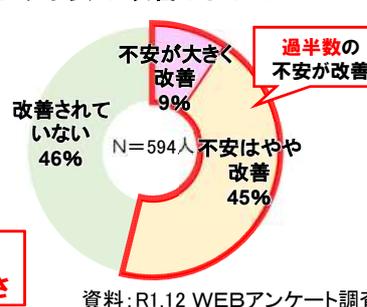
大規模災害に備えた地域住民の安全・安心の確保

■ 東九州道の津波避難施設と津波浸水想定

■ 大規模災害時の不安内容について



■ 高速道路・防災拠点の整備推進により不安は改善しましたか



東九州道や防災拠点の整備推進により、住民の安全・安心に寄与しており、以前と比べ、安心して暮らせるようになっています。

延岡市危機管理室

資料: R2.12 ヒアリング結果